

2019年度

在宅看護実習

[表紙1]

【提出記録用紙】

- 1 実習評価表
- 2 在宅看護実習記録<様式1>
- 3 最終レポート
- 4 事前学習及び自己学習した内容
- 5 出席表

学生証番号： K F

学生氏名 ：

実習期間 ： 月 日 ~ 月 日

実習施設名：

担当教員名：

看護学科3年 専門教育科目

2019年度

在宅看護実習

[表紙2]

【提出記録用紙】

- 6 訪問先リスト<様式2>
- 7 在宅看護事例記録<様式3>

学生証番号： K F _____

学生氏名 ： _____

実習期間 ： 月 日 ~ 月 日

実習施設名： _____

担当教員名： _____

看護学科3年 専門教育科目

授業科目名：在宅看護実習

単位／時間：2単位／90時間

対象／開講：17KF／3年生 通年

担当教員：新村 直子、端山 淳子

ディプロマポリシーとの関連： ○該当する ◎特に該当する

- ◎ 1. 人間の生命と尊厳および権利を尊重した行動がとれる。
- ◎ 2. 自律した一人の人間として、社会や他者へ責任のある行動がとれる。
- ◎ 3. その人らしい生活を整える視点を持つことができる。
- ◎ 4. 科学的根拠に基づいた知識及び技術を用いて、対象にあった看護を計画的に提供できる。
- ◎ 5. 問題意識を持ち、学び続けることができる。
- ◎ 6. 保健医療福祉チームの一員として看護の役割を自覚し、主体的に行動できる。
- ◎ 7. 社会の変化に伴って生じる保健医療福祉の問題に関心をむけ、倫理的課題への感受性を高め、責任ある行動がとれる。
- ◎ 8. 幅広い視点から対象を理解し、経験を統合して自分のめざす看護が述べられる。

【目的】：

地域での看護活動の実際をとおして、保健医療福祉に携わる人々の相互の連携と看護の役割と責任について理解することができる。

【中核目標】：

- I 在宅で生活する人々や家族の自己決定権を尊重しながら、その人らしい生活を支援することの重要性が理解できる。
- II 訪問看護実習、病院（外来・入退院センター）実習及び保健関連施設実習などの体験をとおして看護の継続について考えることができる。
- III 保健医療福祉従事者の相互連携や協働の必要性が理解でき、看護の役割と責任について理解できる。
- IV 実習をとおして自己の人間観、看護観、健康観を育むことができる。

中核目標 I 在宅で生活する人々や家族の自己決定権を尊重しながら、その人らしい生活を支援することの重要性が理解できる。

行 動 目 標

1. 在宅療養者と家族の生活を尊重した支援の実際を知る。
2. 在宅療養者や家族と看護師との援助関係について理解できる。
3. 在宅療養者と家族の状況を様々な視点から、アセスメントする必要性が理解できる。
4. 在宅療養者や家族と共に考え、創意工夫しながら看護していくことの必要性が理解できる。
5. 在宅での看護計画、実践、評価の実際を知り、在宅看護の特徴が理解できる。
6. 在宅療養者及び家族の自己決定を尊重した関わりの必要性について、考えることができる。

中核目標 II 訪問看護実習、病院（外来・入退院センター）実習及び保健関連施設実習などの体験をとおして看護の継続について考えることができる。

行 動 目 標

1. 外来看護における病棟や地域等との看護の継続について理解できる。
2. 入退院センターの役割や看護師の活動を見学して看護の継続について考えることができる。
3. 訪問看護施設における病院との看護の継続について理解できる。
4. 看護の継続のために看護師がどのような役割を果たしているか理解できる。

中核目標 III 保健医療福祉従事者の相互連携や協働の必要性が理解でき、看護の役割と責任について理解できる。

行 動 目 標

1. 地域の保健医療福祉各分野で活躍している人々の活動の実際を知る。
2. 各分野での相互連携や協働の実際を知る。
3. 多職種との連携や協働の中での看護の役割と責任について理解できる。

中核目標 IV 実習をとおして自己の人間観、看護観、健康観を育むことができる。

行 動 目 標

1. 実習をとおして各施設の看護職（看護師・保健師）の看護観を把握できる。
2. 実習をとおして自己の看護観を深め、広げることができる。
3. 実習をとおして自己の日常生活を振り返り、健康の保持、増進について考えることができる。
4. 実習をとおして人間の生き方や死などについて考えを深め、広げることができる。

在宅看護実習評価表

学生証番号	実習期間		
氏名	実習場所		
「実習目標に沿った学び」 および 「学習態度」 --- 25項目 合計点の計算方法：良い=2点、普通=1点、要努力=0点		<合計点の計算方法> 25項目×2点=50点 20項目×2.5点=50点 合計=100点	
「実習準備」 および 「記録」 --- 20項目 合計点の計算方法：良い=2.5点、普通=1点、要努力=0点			
項目	中核目標	行動目標	良 普 い 通 要 努 力
実習目標に沿った学び	1. 在宅で生活する人々や家族の自己決定権を尊重しながら、その人らしい生活を支援することの重要性が理解できる。	(1) 在宅療養者と家族の生活を尊重した支援の実際を知る。 (2) 在宅療養者や家族と看護師との援助関係について理解できる。 (3) 在宅療養者と家族の状況を様々な視点から、アセスメントする必要性が理解できる。 (4) 在宅療養者や家族と共に考え、創意工夫しながら看護していくことの必要性が理解できる。 (5) 在宅での看護計画、実践、評価の実際を知り、在宅看護の特徴が理解できる。 (6) 在宅療養者及び家族の自己決定を尊重した関わりの必要性について、考えることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2. 訪問看護実習、外来実習及び保健関連施設実習などの体験をとおして看護の継続について考えることができる。	(1) 外来看護における病棟や地域等との看護の継続について理解できる。 (2) 入退院センターの役割や看護師の活動を見学して看護の継続について考えることができる。 (3) 訪問看護施設における病院との看護の継続について理解できる。 (4) 看護の継続のために看護師がどのような役割を果たしているか理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3. 保健医療福祉従事者の相互連携や協働の必要性が理解でき、看護の役割と責任について理解できる。	(1) 地域の保健医療福祉各分野で活躍している人々の活動の実際を知る。 (2) 各分野での相互連携や協働の実際を知る。 (3) 多職種との連携や協働の中での看護の役割と責任について理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	4. 実習をとおして自己の人間観、看護観、健康観を育むことができる。	(1) 実習をとおして各施設の看護職（看護師・保健師）の看護観を把握できる。 (2) 実習をとおして自己の看護観を深め、広げることができる。 (3) 実習をとおして自己の日常生活を振り返り、健康の保持、増進について考えることができる。 (4) 実習をとおして人間の生き方や死などについて考えを深め、広げることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
実習準備	事前学習	(1) 課題に沿った学習ができている。 (2) 文献が活用できている。 (3) 実習で活用しやすいよう工夫した事前学習ができている。 (4) 既修学習をいかした事前学習ができている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
記録	日々の記録	(1) 実習目標が具体的に設定できている。 (2) 実習目標、行動計画が必要時、修正できている。 (3) 体験した内容や見学した内容がわかりやすく記載できている。 (4) 実習体験からの自分の考えが述べられている。 (5) 看護師のアドバイスと自分の考えを区別して表現できている。 (6) 実習目標の達成状況と次の日の課題が述べられている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	訪問看護事例 ()件	(1) 療養者と家族の全体像が把握できている。 (2) 必要な情報が記載できている。 (3) 療養者と家族に対する訪問看護の目的が理解できている。 (4) 訪問看護の実際が具体的に記載できている。 (5) 訪問看護についての自分の考えが述べられている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

記録	最終レポート	(1) サブテーマに沿った実際の体験が述べられている。 (2) サブテーマに沿って自分の考えが述べられている。 (3) 自分の考えが一般的な知識（文献）に照らし述べられている。 (4) 誤字脱字がない。 (5) 引用・参考文献を正確に記載できている。	____ ____ ____ ____ ____
学習態度	学習態度	(1) 積極的に実習に取り組んでいる。 (2) 療養者や家族への配慮ができる。 (3) 実習施設で節度ある行動ができる。 (4) 個人情報の保護に留意できる。 (5) 健康管理に留意して実習できている。 (6) カンファレンスでは積極的に発言し、学習を共有化できる。 (7) アドバイスを謙虚に受け止めることができる。 (8) 実習で充実感が持っている。	____ ____ ____ ____ ____ ____ ____ ____
評価	自己評価 教員評価	点 点	
出席日数	出席()日 欠席()日 早退() 遅刻()		
自己評価			
教員評価			評価 S A B C D E
サイン()			

【記入方法】

自己評価は、○で記入し、教員評価は●とする。

1 訪問看護施設

NO	施設名	責任者	住所・連絡先	
1	医療法人社団藤和会 介護老人保健施設 こまち訪問看護ステーション	所長 藤原 真由美	TEL:046-247-1310	〒243-0125 厚木市小野763-1
2	神奈川県厚生連 JA訪問看護ステーション いせはら	所長 藤元 実千代	TEL:0463-91-6191	〒259-1125 伊勢原市下平間700 介護老人保健施設 ほほえみの丘内1階
3	医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーション	管理者 設楽 千春	TEL:0463-76-1515	〒257-0001 秦野市鶴巻北2-14-2 ケアタウンあじさいの丘
4	東芝健康保険組合 林間訪問看護ステーション	管理者 橋本 美智子	TEL:042-742-4132	〒252-0385 相模原市南区上鶴間7-9-1 東芝林間病院1階
5	医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーション いせはら	所長 岡田 さとみ	TEL:0463-90-3066	〒259-1132 伊勢原市桜台1-13-13 丸興ビル202
6	社団法人秦野伊勢原医師会 秦野訪問看護ステーション	管理者 杉本 麻希	TEL:0463-81-5154	〒257-0031 秦野市曾屋11 秦野伊勢原医師会公衆 衛生センター内
7	公益社団法人神奈川県看護協 会おおいそ訪問看護ステー ション	所長 都築 理絵	TEL:0463-60-3117	〒255-0003 中郡大磯町大磯971 カタノビル3階
8	医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーション しぶさわ	所長 伊藤 良美	TEL:0463-75-8905	〒257-0035 秦野市本町1-11-19
9	合同会社ハーモニーケア訪問 看護ステーション	理事長 佐々木 美保子	TEL:0463-26-8045	〒257-0004 秦野市下大槻56-14
10	特定医療法人仁厚会 仁厚会訪問看護ステーション	管理者 井本 万里子	TEL:046-221-3733	〒243-0018 厚木市中町3-11-20本厚木 ケイビル6F
11	株式会社 マザー湘南 訪問看護 そよかぜ	管理者 塚田 桂子	TEL:0467-53-9925	〒253-0064 茅ヶ崎市柳島1-9-8
12	特定医療法人社団三思会 訪問看護ステーションさつき	管理者 田中 和子	TEL:0462-28-6556	〒243-0034 厚木市船子131-1

2 保健関連施設

1	東海大学 健康推進センター 湘南健康推進室	室長 五十嵐 義和 係長 (保健師) 萱場 隆人	TEL: 0463-58-1211 内線(2910)	〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 15号館2階
---	--------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	--

3 外来

1	東海大学医学部付属病院外来	看護師長 鈴木 洋子	TEL: 0463-93-1121	〒259-1193 伊勢原市下糟屋143
2	東海大学医学部付属病院入退 院センター	主任 堤 千加子	TEL: 0463-93-1121	〒259-1193 伊勢原市下糟屋143

II 学習方法

1 訪問看護ステーション実習 施設別オリエンテーション

4月中に各実習ステーションで実施される。時間はステーションにより異なる。
(詳細はガイダンスで通知する。)

2 実習スケジュール

(1) 実習日程の一例

第一週	月	オリエンテーション (学内：教室は掲示で確認)
	火	外来
	水	入退院センター カンファレンス
	木	外来 カンファレンス
	金	保健関連施設 (湘南健康推進室)
第二週	月	訪問看護施設
	火	訪問看護施設
	水	訪問看護施設
	木	訪問看護施設
	金	共有学習 記録整理 (学内：教室は掲示で確認)

◎初日、最終日の集合時間は9時20分。場所は掲示する。

◎記録物及びレポートの提出は最終日の16時30分。

(2) 実習時間は原則として8時30分～16時30分とする。但し施設毎に違う場合があるので、施設別オリエンテーションで説明された時間を厳守すること。

(3) 施設ごとのカンファレンスの時間と内容は、指導者と調整して決定する。
カンファレンスは学生が主体的に行う。

3 服装

(1) 実習中は名札をつける。

(2) 初日はナースシューズを持参する (午後から実習室を使用する)。

(3) 訪問看護ステーションの行き帰りは、ブルージーンズは避け質素な服装とする。
実習中は、ポロシャツとトレーナー上下、運動靴とする。靴下を着用。
・ 換えの靴下、ハンドタオル・夏は着替えを、冬は上着を準備するとよい。

(4) 外来、入退院センターは、ユニフォーム一式。

(5) 東海大学湘南健康推進室は、リクルートスーツに準じたもの。
靴は歩行時に音のでないもの (ナースシューズも可)。

4 記録物の記載

(1) 療養者や家族のプライバシーに配慮して記載する。

(2) 日々の実習状況は、在宅看護実習記録<様式1>に記載する。パソコン使用不可。

(3) 「本日の実習目標」は具体的に記述する。

(4) 「指導者氏名」は訪問看護ステーション実習では同行した指導者名を記載する。

(5) 訪問先リスト<様式2>は訪問看護施設で訪問した事例について記載する。

(6) 在宅看護事例記録<様式3>は訪問看護施設で訪問した2～3事例を取り上げて記載する。

5 レポート

(1) 最終レポートのテーマは、「在宅看護実習から学んだこと」とし、サブテーマをつける。

(2) A4用紙2000～2500字程度、パソコン使用可

(3) 参考、引用文献を使用し、文献は文末の後に正確に記載する。

(4) 表紙をつけ、左上に科目名、科目責任者名、中央にテーマ、右下に提出年月日、学生証番号と学生氏名を記載する。

6 提出物

(1) フラットファイル (A 4) に綴じこんで提出するもの

- a. ピンク色の表紙
- b. 実習評価表
- c. 在宅看護実習記録<様式1>の原本を日付順に並べて綴じる。
- d. 最終レポート
- e. 事前学習及び自己学習した内容
- f. 出席表

*フラットファイルの表には実習名、科目責任者名、学生証番号、学生氏名を記載する。

*フラットファイルの背表紙には、学生証番号と氏名を記入する。

(2) 別に綴じて提出するもの

- a. 緑色の表紙
- b. 訪問先リスト<様式2>
- c. 在宅看護事例記録<様式3>

*紐で綴じて、ファイルに挟み提出する。

(3) 未提出の在宅看護実習記録<様式1>は、両面コピーをし、実習最終日の昼休みに担当教員へ提出する。

Ⅲ 単位及び評価

(1) 2単位/90時間

(2) 東海大学医療技術短期大学看護学実習に関する細則の規定により実習評価の対象は、原則として実習日数の3分の2以上出席した者とする。

(3) 実習評価は、評価表に基づき、学習の到達目標の状況、事前学習、記録物(日々の記録、事例記録、最終レポート)学習態度・実習やカンファレンスへの取り組み態度出席状況・指導者の意見等から科目責任者が、総合的に評価する。

(4) 総合評価はS~Eで判定する。

IV 各施設の実習目標とスケジュール等

1. 訪問看護ステーション実習

(1) 実習目的・目標

<実習目的>

在宅療養者と家族への援助活動をとおして、訪問看護における看護の役割と特徴について理解できる。

<実習目標>

- 1) 療養者と家族の生活環境や生活習慣に合わせた援助を行うことの必要性が理解できる。
- 2) 療養者と家族の関係性や家族の役割を把握する必要性が理解できる。
- 3) 療養者と家族とともに考え、評価しながら援助することの必要性が理解できる。
- 4) 療養者と介護する家族の悩みや困難などについて理解し、援助する必要性が理解できる。
- 5) 療養者と家族を支援する制度が理解でき、多職種と連携の必要性について考えることができる。
- 6) 病院（病棟看護師や外来看護師等）との連携や継続看護のあり方について考えることができる。
- 7) 訪問看護師が自己の看護観をどのように実践に反映させているか把握し述べることができる。

(2) 実習スケジュール等

各施設によって異なるので、施設別オリエンテーション、実習オリエンテーションで説明された内容を厳守すること。

2. 外来・入退院センター看護実習

(1) 実習目標

- 1) 外来を利用する人々の特徴と看護の役割が理解できる。
 - ①病院における外来の機能と役割が理解できる。
 - ②外来における看護の役割が理解できる。
 - ③外来通院しながら生活している人々の思いやニーズについて述べるができる。
- 2) 入退院センターにおける活動の実際を知り、看護職の役割が理解できる。
 - ①病院における入退院センターの位置づけと役割が理解できる。
 - ②入院コーディネーター及び退院調整看護師の役割が理解できる。
 - ③入退院センターに看護職が配属されている意義について考え、記述できる。
 - ④入退院センターを利用する患者と家族の思いやニーズを看護職がどのように把握し支援しているのかを理解し、記述できる。
 - ⑤入退院センター内での看護職と多職種との連携の実際が理解できる。
 - ⑥入退院センターにおける他部署・他部門および地域との連携の実際が理解できる。
- 3) 看護職間の連携の実際を知り、継続看護や他職種との連携について考えることができる。
 - ①病棟・入退院センター・外来・地域の看護職相互の連携の実際が理解できる。
 - ②実習体験をとおして継続看護や多職種との連携、協働について自己の考え記述できる。
- 4) 外来および入退院センターの看護師が自己の看護観をどのように実践に反映させているか把握し述べるができる。

(2) 実習方法

- 1) 実習初日、外来師長よりオリエンテーションを受ける。
- 2) 外来および入退院センターの看護師の実践に同行しながら、看護の実際を理解する。
- 3) 外来の実習では各診療科の外来患者より、病気や生活などについて話を聞き、患者のニーズや思いを理解する。
 - ・看護師が同意を得た患者と話をする。
 - ・実習する診療科の事前学習を基に、患者に何う内容を整理しておくこと。

(3) 実習スケジュール

	Aチーム	Bチーム
1日目	8:30 外来実習オリエンテーション（入退院センター受付へ集合） 外来師長より外来の概略についてオリエンテーションを受ける	
	8:50～ 入退院センター実習 部署内のオリエンテーション	8:50～16:00 各外来診療科実習 (12:00～13:00 休憩)
	10:00以降 入院前面談・入院当日 面談・退院調整の面談などに同席	
	16:00～16:30 カンファレンス	16:00～16:30 記録整理 (2号館医療短大 3H20教室)
2日目	8:30～16:00 各外来診療科実習 (12:00～13:00 休憩)	8:50～ 入退院センター実習 部署内のオリエンテーション
		10:00以降 入院前面談・入院当日 面談・退院調整の面談などに同席
	16:00～16:30 記録整理 (2号館医療短大 3H20教室)	16:00～16:30 カンファレンス
3日目	8:30～14:45 各外来診療科実習 (12:00～13:00 休憩)	
	15:00～16:00 カンファレンス(2号館医療短大 3H20) ※事前にテーマ・司会・タイムキーパーを決めておくこと	
	16:00～16:30 記録整理	

※ 上記の時間は患者や面談等の状況に応じて変更になる。

※ 外来実習の際は、在宅看護論Ⅱの授業資料(大村先生)を持参する。

※ 入退院センター実習の際は、在宅看護論Ⅱの授業資料(堤先生)を持参する。

3. 東海大学健康推進センター湘南健康推進室

(1) 実習目標

- 1) 大学における保健活動の概要・特徴が理解できる。
 - ①湘南健康推進室の役割について理解できる。
 - ②大学における健康管理の法律と関連させて、学生・教職員に対する健康管理活動を理解し、記述できる。
 - ③大学における環境管理が関係する法律と関連させて、把握できる。
 - ④学生・教職員に対する生活管理及び保健指導について把握できる。
 - ⑤国の健康増進対策の動向と関連させて、湘南健康推進室の活動内容を理解し、記述できる。
- 2) 湘南健康推進室における看護職の役割について把握し、健康の保持増進のための看護の役割について考えることができる。
- 3) 自己の日常生活を振り返り、健康について考えることができる。
- 4) 健康推進室の保健師が自己の看護観をどのように実践に反映させているか把握し述べることができる。

(2) 実習スケジュール

9：30～10：00	オリエンテーションおよび自己紹介
10：00～11：30	健康推進センターと湘南健康推進室の概要説明等
11：30～12：30	昼食
12：30～16：00	湘南健康推進室の概要説明
16：00～16：30	カンファレンス

(3) その他

- ・学校保健安全法、労働安全衛生法の内容を理解し、実習に臨むこと。
- ・実習資料（ガイダンスで配布）を熟読し、質問事項を列挙して臨むこと。
- ・施設では、歩行時に音のしない靴を履いてください。
- ・名札は着座した状態で見える場所につけてください。
- ・湘南健康推進室には更衣室はありませんので、注意してください。
- ・湘南校舎15号館1階ホールに9時25分に集合。

2019年度 在宅看護実習出席表

東海大学医療技術短期大学 看護学科

学生証番号 _____

学生氏名 _____

	月日	曜日	施設名	指導者印
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

在宅看護実習記録

年 月 日 ()

学生証番号 () 氏名 ()

実習場所	指導者氏名
本日の実習目標	主な行動計画
実習状況と振り返り	

(裏面へ)

指導者サイン

訪問先リスト 学生証番号 () 氏名 () No.

実習施設名：			
訪問 月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
疾患・病状：			
訪問 月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
疾患・病状：			
訪問 月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
疾患・病状：			
訪問 月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
疾患・病状：			
訪問 月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
疾患・病状：			

在宅看護事例記録

学生証番号 () 氏名 ()

実習施設名 :

訪問日 :

年 月 日 ()

情報 1 : 1) 年齢、性別、診断名、主な疾病や障がいの発生の時期、現在の症状や病状、要介護認定度
訪問看護が導入となった経緯、日常生活動作、手段的日常生活動作、障害高齢者および
認知症高齢者の日常生活自立度など

2) 使用しているサービス (1週間分のサービスを具体的に)

情報 2 : 家族構成 (家族ツリー図)、療養者と家族の人間関係、家族構成員同士の人間関係、
主たる介護者、キーパーソンなど

情報 3 : 健康な頃の仕事や生活の状況 (仕事、趣味など)

情報 4 : 療養者および家族の不安や心配していること。また、その心配ごとに対して訪問看護師が療養者と
家族への看護を行うときに大切にしていること

(裏面へ)

看護の実際 1 : 看護目標、療養者や家族が訪問看護に期待すること

看護の実際 2 : 今回の訪問目的、訪問看護の実際など

【この事例をとおして、療養者や家族を支える訪問看護について考えたこと】